

# 市民の健康づくりの推進を

## 質問

介護を受けたり、病気で寝たきりにならず、健康に生活できる健康寿命・健康増進の取り組みは。

## 市民生活部長

生活習慣病を予防するための健康教育事業を行っている。

健康管理システムの改修で

がん検診とクーポン券検診の受診券を、1枚のシートで一括して発行して、受診率の向上を図っていく。

## 質問

第2次愛西市健康日本21の計画の内容は。

## 市民生活部長

市民の健康を支えるための環境づくりと、健康寿命への延伸と、健康格差の縮小を目指すというような基本方針で現在作成している。



榎本雅夫 議員

## 質問

藤枝市の健康マイレージは、運動や食事などの目標を達成できた場合や、健康診断、ウォーキングイベントなどに参加した場合にポイントを付与し、さまざまな協力店でサービスを受けられる事業である。市でも市民の健康づくりを応援する取り組みを実施してはどうか。

## 市民生活部長

市の単独ではなく、藤枝市のように県と協働して行うほうが効果があると認識している。今後、勉強していきたい。

## 質問

高齢者の健康増進のため多くの市民が利用する公園に、健康遊具を設置してはどうか。

## 経済建設部長

親水公園では体育館にトレーニングルームがある。また、中央公園については現時点では設置の考えはない。

# 地方版CSRにおける協働の街を

## 質問

CSRとは、企業は、利潤を追求するだけではなく、消費者、地域社会など、企業活動に関係を持つ人に、責任を果たさなければならないという考え方である。地域貢献の視点で、雇用や環境などの事業活動の取り組んでいる商店や、企業の発展を支援することで、地域を活性化することを目的としている地域貢献企業認定制度についての見解は。

## その他の質問

住宅用火災警報器の設置は

## 経済建設部長

市内の企業でも、ごみゼロ運動の協力や商工祭り、地域